

横浜市介護支援専門員連絡協議会 連絡協議会議事録

会議名	平成30年度6月 定例会		
開催日時	平成 30 年6月15日(金)	19:00~20:45	開催場所 横浜市社会福祉センター9階
議 題	1	情報提供	
	2	総会報告	
	3	平成 30 年度在宅療養移行支援検討会への委員選出	
	4	各委員会報告	
	5	ブロック会議	
	6	ブロック会議の発表	
	7	加藤代表より	

No	議 題	内 容
1	情報提供	<p>・「高額障害福祉サービス等給付費における対象者拡大について」 健康福祉局障害福祉課生活支援課 石川係長・田辺氏・内野氏より 障害のある65歳以上高齢者で、介護保険サービス利用に移行の方。 一定の条件にあてはまると、利用料金が還付される(償還払い)制度が、30年4月1日から開始となっている。 要件は「65歳に達する日前5年間にわたり、相当する障害福祉サービスに係わる支給決定を受けていたこと」「相当障害サービスを受けていて、相当介護サービスを利用すること」「65歳に達する日の前日において低所得又は生活保護に該当し、65歳以降に利用者負担の軽減の申請をする際にも低所得又は生活保護に該当すること」「65歳に達する前日において、障害支援区分2以上であったこと」となる。 →以下、質疑応答(YはYCM・局は健康福祉局) Y「償還払いとして、毎月の支払いになるのか」→局「そうなる」 Y「手続きは毎月するのか」→局「そこは課題なので、数か月毎も可とする」 Y「対象者への通知は」→局「6月に手紙を送る」 Y「すでに6月だが」→局「4月に遡って還付する」 Y「サービスが増えても良いのか」→局「該当サービスなら構わない。障害の悪化ではなく加齢によるものでも構わない。障害で使っていなかった相当サービスを介護で使うようになっても構わない。」 Y「申請はいつでも良いのか」→局「時効は5年間となる」 Y「一旦、入院や入所があっても良いのか」→局「構わない」</p> <p>・「7期計画の報告」 健康福祉局高齢健康福祉課 近藤係長・菊池氏 健康福祉局高齢在宅支援課 正木係長・島田氏・坂田氏 「第7期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(2018年から2020年)」が策定された。 基本目標: ポジティブ・エイジング~誰もが、いつまでも、どんなときも、自分らしくいられる「横浜型地域包括ケアシステム」を社会全体で紡ぐ~ 計画の主な内容 ・介護・医療・介護予防・生活支援・住まい等の分野別の具体的かつ実効性のある施策や目標・指針を盛り込んでいる。 ・当期間中の保険料(基準月額)を6200円とした。</p>

No	議 題	内 容
		<p>・横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた区行動指針の概要を掲載した。</p> <p>計画書(全215ページ)は横浜市役所 1 階市民情報センターで販売中(620円)。概要版は各区役所にて無料で配布。</p>
2	総会報告	<p>平成 30 年度総会実行委員長中島氏より</p> <p>総会は約150名が参加し、アンケート内容も好評であった。</p> <p>反省点として以下を挙げる。</p> <p>・事情が重なり、祝辞が全員からとなった。今後は祝辞は、「健康福祉局と県協会」だけで良いのではないか。来賓の参加依頼と、祝辞依頼が別だったことも、検討した方が良い。</p> <p>・総会運営方法は、マニュアル化されると良い。通常業務を行いながらの準備なので、負担も大きい。そうすることで、負担もかなり軽減されるはず。</p> <p>・今回の総会運営シナリオをデータ化して、YCMと次年度担当の西部ブロックへ渡す。</p>
3	平成 30 年度在宅療養移行支援検討会への委員選出	引き続き、「旭区洪氏・佐藤孔一氏」にて委員をお願いする。
4	各委員会報告	<p>○医療連携委員会(小泉氏(代理にて加藤代表)より)</p> <p>7月下旬までに委員会を行う。</p> <p>上記3の担当委員の方は、医療連携委員会に入ってもらえるとありがたい。</p> <p>○制度対策委員会(佐藤孔一氏より)</p> <p>6/14(木)に委員会実施。</p> <p>末期がんについての資料配布が行えた。30年度テーマとして、「居宅介護支援事業所管理者の主任ケアマネジャー要件」について、内容を精査してアンケートを実施したい。そのアンケートには、「居宅介護支援費の利用者負担」についても盛り込む予定。また研修も企画したい。</p> <p>○広報委員会(松下氏より)</p> <p>総会お礼状を関係機関に送付している。</p> <p>バナーに間違いがあり、ホームページを差し替えている。それに関しては間違い先にお詫び状を送付している。今後、同様なことが起こらぬように、対応策を検討する。</p> <p>○会計(佐藤直人氏より)</p> <p>各区会費の集金を開始する。</p> <p>交通費は原則として一名だが、引継ぎ時は二名分支払う。なお交通費は、「事業所から桜木町駅までの電車賃」となる。</p> <p>○事務局(佐藤洋平氏より)</p> <p>6/12 に県協制度改正委員会あり。テーマは「区分支給限度基準額の利用率」についてとなる。</p> <p>7/4に相模女子大学グリーンホールにて、「地域包括ケアにおいて今後求められる介護支援専門員の役割」について、講演と対談がある。(講演:石井義恭氏・対談:同氏と松川竜也氏)(参加費:会員 500 円・一般 1000 円)</p>
5	ブロック会議	<p>・各ブロック長の選出</p> <p>・平成 31 年度総会担当西部ブロックは、総会実行委員長の選出</p> <p>・横浜市訪問介護連絡会との合同研修(9/19 実施)の寸劇キャスト及び当日手伝いの選出</p>
6	ブロック会議発表	<p>○東部ブロック</p> <p>ブロック長:八木氏(中区)</p> <p>キャスト:中区・南区または西区より選出</p> <p>手伝い:植村氏</p> <p>ブロック研修として、「ショートステイや施設について」を検討。</p>

No	議 題	内 容
		<p>○西部ブロック ブロック長及び総会実行委員長：松下氏（瀬谷区） キャスト及び手伝い：松下氏・深井氏（保土ヶ谷区）・近藤氏（泉区） 総会実行委員会打ち合わせを6/25（月）19時から二俣川ケアプラザにて実施。次年度総会に向けて、総会では毎回多数のパンフレットやカタログを配布して頂くが、その他により良い方法がないか、協賛団体側の受け止めも考えながら検討する。</p> <p>○南部ブロック ブロック長：河合氏（磯子区） キャスト：兼武氏（栄区） 手伝い：今坂氏（金沢区）・三島氏（金沢区） ブロック研修は今後も継続する。</p> <p>○北部ブロック 参加者が少なかったため、ブロック長及びキャスト・手伝いは保留とする。 打診者や候補者は挙がっている。 ブロック研修は、今年度は実施する方向で検討する。</p>
7	加藤代表より	<ul style="list-style-type: none"> ・県協の研究大会が、今年度は相模原市で実施される。 テーマが「えん」の予定。 ・本会には、皆さん多忙な中で参加されている。是非とも、一人でも多くの方の発言をお願いしたい。また、今年度はブロック会議も積極的に行っていきたい。

次回：30年7月20日（金）19時から
 横浜市社会福祉センターにて